

各位

平成25年 7月 1日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成25年4～6月期実績、7～9月期予想－

横浜信用金庫(横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

業況は足踏み状態

来期は回復を見込む

- 今期(平成25年4～6月期)の業況判断DIは $\Delta 9.8$ と、前期比 0.1 ポイント低下した。来期は $\Delta 4.1$ と、今期より 5.7 ポイント上昇を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比 2.4 ポイント低下の $\Delta 13.6$ となった。特に金属プレス・メッキ、プラスチック製品が大きく低下した。製造業の来期業況判断DIは $\Delta 7.2$ と、今期より 6.4 ポイント上昇する見込みである。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比 1.0 ポイント上昇の $\Delta 8.0$ となった。特に不動産業が大きく回復した。非製造業の来期業況判断DIは $\Delta 2.6$ と、今期より 5.4 ポイント上昇する見込みである。

【特別調査】 中小企業における“本業”の現状と今後について

- 業歴は「30年以上50年未満」、年商は「1億円以上5億円未満」が最多回答
- 創業時より本業は「変化なし」、本業の将来性は「横ばい見込み」が最多回答
- 今後実施・検討が想定されるのは「本業の国内取引先深耕」が最多回答
- 事業の引継ぎに際して想定しているのは「子供への承継」が最多回答
- 円安とTPP参加による影響は共に「どちらともいえない」が最多回答

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:753先

調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成25年6月上旬

その他詳細につきましては、別添の「<よこしん>景況レポート」をご覧ください。



横浜信用金庫